

平成30年度 地方創生推進交付金事業 検証シート

事業名	オール霧島魅力創造・発信プロジェクト「新たなる挑戦!!」
担当部局課名	商工観光部霧島PR課

1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	市民等のまちへの愛着度を高め、まちの魅力づくりに参画する人口を増やすために、加速化交付金事業で実施した霧島市を愛する人を増やす「キシマイスター制度」等をさらに推進する。また官民一体となった魅力づくりや情報発信を行い、持続的な発展につなげる。 そのために、市民の方等がブランディングや情報発信について専門的な知識を学べる機会を作り、まち全体のブランド・PR力を高める。また民間のノウハウを活用した効果的な情報発信とメディアとのネットワーク構築を図る。さらには、移住の受け入れ態勢づくり等に取り組んだ。		
交付額	14,493,600 円	交付対象事業費	28,987,200 円
事業始期年月	平成30年4月1日	事業終期年月	平成31年3月31日
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標 II 訪れたい、住み続けたいまちづくり		
	関連施策 II-① I・J・U 移住天国霧島魅力倍増計画		

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

指標	達成状況	H28基準値	H30実績値	目標値
KPI① 社会動態の増	未達成	—	△341人	166人
KPI② 移住人口	達成	100人	162人	100人
KPI③ 交流（観光）人口の増	未達成	8,118,000人	8,156,968人	8,445,000人

3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に相当程度効果があった

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の継続	本事業により、市民等のまちへの愛着度を高め、魅力づくり・魅力発信に参画する人口を増やすことで、本市の魅力向上、魅力発信の強化につながっていくものである。また、首都圏メディアへの効果的な情報発信により、メディア露出を増やし、本市の認知度向上につなげる。さらには、移住受入れ態勢を構築することで、移住者増につながるものである。

5. 外部有識者会議による効果検証

効果検証の次期	外部有識者会議による本事業の評価
令和元年10月	総合戦略のKPI達成に有効であったとの意見

平成30年度 地方創生推進交付金事業 検証シート

事業名	霧島ガストロノミーと地域商社で興す「食」のムーヴメント事業
担当部局課名	商工観光部霧島PR課

1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	霧島ガストロノミー推進協議会の目的は、霧島ガストロノミーの理念である「きりしま食の道10カ条」に基づき、産学官連携組織である「霧島ガストロノミー推進協議会」及び地域商社「霧島商社」が本事業のエンジンとなり、地域特性を活かした霧島産品の六次産業化やブランド化、霧島ガストロノミーを体験することができるメニュー開発・提供などを行うものである。 平成30年度は、明治維新150周年、大河ドラマ「西郷どん」の放映により、国内外における鹿児島県の注目度は高まり、特に明治維新の立役者である西郷隆盛をはじめとする多くの偉人たちの心や傷を癒した本市の認知度は高まることから、この好機に、霧島の食文化を活かした新たな霧島の食に発展させ、霧島の食材を学び、使い、食べる機運の醸成につなげる取組を実施した。 本市で初となるブランド認定制度を運営し、38件の認定品・活動が「ゲンセン霧島」に認定され、パンフレット、ポスター等の制作、イベントの実施など、ゲンセン霧島ブランドのブランディングを行った。また、気軽に霧島ガストロノミーを体験できるご当地料理として、霧島産品を包んだ包み料理「霧島つつみ」を開発し、次年度以降の取組の礎を築いた。 その他にも、ブランド認定を目指す事業者の取組を活性化させるためクラウドファンディングサイト「FAAVO霧島」の運営や東京農業大学と包括連携協定を締結し、協議会のブランディングと今後の取組の連携の礎を築いた。		
交付額	6,463,480 円	交付対象事業費	12,926,960 円
事業始期年月	平成30年4月1日	事業終期年月	平成31年3月31日
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標 II 訪れたい、住み続けたいまちづくり		
	関連施策 II - ① I・J・U 移住天国霧島魅力倍増計画		

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

指標		達成状況	H29基準値	H30実績値	目標値
KPI①	本事業を通じて開発・生産された産品及びブランド認定品の売上高・出荷額	未達成	—	1,467,279円	10,000,000円
KPI②	本事業を通じて開発・生産された産品及びブランド認定品の新規顧客契約件数	達成	—	30件	5件
KPI③	ブランド認定数（七つ星、五つ星、三つ星）	達成	—	38認定	16認定
KPI④	ブランド認定応募数	達成	—	41応募	30応募

3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に相当程度効果があった

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の継続	本事業により、本市の魅力的な食に関連する地域資源を発信する仕組みが構築され、それによって、六次産業化の推進や市場のニーズにあった新製品の開発・提供、話題性のある効果的なＰＲ等に繋がっていくものである。また、霧島の食材、食文化を活用したご当地料理の開発・提供は、市内のホテル・旅館・飲食店等で霧島食材の積極的な地産地消が図られることはその地域の食材を食べたいという旅行者ニーズを満たすものであり、インバウンド観光振興を含め、霧島の食を軸としたガストロミーツーリズムとして発展させることで、本市への誘客拡大、旅行者の満足度向上、交流人口拡大に伴う経済活動の活性化に繋がるものである。

５．外部有識者会議による効果検証

効果検証の次期	外部有識者会議による本事業の評価
令和元年10月	総合戦略のKPI達成に有効であったとの意見

平成30年度 地方創生推進交付金事業 検証シート

事業名	食の宝庫かごしま 食と農の競争力強化事業
担当部局課名	商工観光部商工振興課

1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	【目的】 空港や高速道路、主要幹線道路、鉄道網など国内外への流通ルートが確保された地理的優位性とともに、明治維新150周年や大河ドラマ等、旬を迎えた観光素材である「霧島の食」を国内外にPRすることにより、PR機会・効果を拡大し、新たな市場開拓及び販路拡大につなげることで、市内中小零細企業の経営基盤の強化を図る。 【概要】 国内外で開催される各種展示会・商談会への出展、参加に要する費用を一部補助する。補助率等）出展経費の1/2、上限20万円、対象経費）出展ブース料、旅費、宿泊費、広報物製作費等		
交付額	100,000 円	交付対象事業費	200,000 円
事業始期年月	平成30年4月1日	事業終期年月	平成31年3月31日
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標 II 訪れたい、住み続けたいまちづくり		
	関連施策 II-① I・J・U 移住天国霧島魅力倍増計画		

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）

指標		達成状況	H29基準値	H30実績値	目標値
KPI①	本事業による農林水産物、加工食品等の商談成立件数	達成	—	5件	2件
KPI②	本事業による販売促進活動件数	未達成	—	1件	2件

3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に相当程度効果があった

4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の継続	平成28年度から3ヵ年で、市内食品関連事業者20社が商談会等に出展し、23社と商談成立に至ったほか、今後69社と成約見込みとなるなど、本市の食品関連産業の育成及び企業経営基盤の強化につながった。また県や金融機関と一体となって販路拡大の取組みを支援したことにより、自ら積極的に市場開拓に取り組む事業者が増えており、今後は霧島産品のブランド力向上や農業の「稼ぐ力」向上に注力していく。

5. 外部有識者会議による効果検証

効果検証の次期	外部有識者会議による本事業の評価
令和元年10月	総合戦略のKPI達成に有効であったとの意見